

令和3年度 寒河江市振興審議会 議事録（概要）

令和3年10月19日（火）13:58～15:39

ハートフルセンター2階 多目的ホール

【出席者】委員16名 副市長以下事務局

【欠席者】委員3名

●有識者意見要旨

【結婚・出産・子育て】

- ・放課後児童クラブの数を増やしてだけでなく、利用者の制限を緩和してほしい。祖父母が近くにいっても、いつも預けられるわけではない。
- ・放課後児童クラブの内容充実を検討してほしい。フローラの場合、狭い室内でしか遊べない状況にある。市外の学童だと自然を相手にしたこともやっている。コロナ禍でも伸び伸びとできるよう考えてほしい。
- ・保育料の無償化は大変感謝している。
- ・アンケート結果から寒河江市が子育てに対して力を入れていることが市民の多くの方が実感している結果だと思っている。今後の重要度もまだまだ高いという評価項目もあるため、要望内容を精査しながら、今後とも力を入れていってほしい。
- ・チェリーランドの新しい遊び場について、今までとは違った、ただ体を動かす施設でない、考える力をつけるようなところもあるといいと思う。
- ・結婚支援について、各自治体でもうまくいっていないと聞く。出生率もなかなか伸びない。結婚支援は、きちんと継続すること、そこにアイデアを加えること、公的なお金を使うのであれば、ある程度興味を引かなくてはいけないと思う。成果を求められるべきだと思う。特色を出せる形で、他自治体から寒河江のイベントに行ってみようとなってくれば、将来のためになると思う。
- ・第6次振興計画に付随している人口ビジョンで出生率の今後の推移が、実態と乖離しているところがあると感じる。臨機応変にこのコロナの問題もある中でもあるため、人口ビジョンを金科玉条にするのではなく、現状に合わせた、いろんな場での議論を望みたいと思う。

【学校・教育】

- ・寒河江市のコミュニティスクールが今年度で完成する、地域住民の方と一緒に学校をつくっていくようなところは、全県、全国に向けて発信されているのではないかと。
- ・寒河江市に就職する子供も多いため、知識の基盤になる小学校中学校での教育をしっかりとすることで、20年後30年後に寒河江市としての財産になるのではないかと。振興計画は5

年スパンの計画だが、長期的なスパンをもって計画を進めていってほしい。

【商工振興・雇用】

- ・中心市街地に空き店舗が増えている。活性化は、目玉を打ち出さないと難しい問題ではないか。創業支援の対象が大変狭いと感じる。対象等をもう少し広げて、空き店舗等で気楽に開業していけるようにしてほしい。
- ・商工業の取組については、若干評価が低いようだ。持続可能な寒河江市のためにも、郷土の歴史を学ぶほか、子供たちが成長の過程で一旦市外に出たとしても、また寒河江に戻ってきてここに住めるように産業振興や雇用が重要である。
- ・中央工業団地も埋まってきている。高速道路のインターチェンジ付近に第2工業団地を設け、最新のロボットを作る会社を誘致するなど、運送業だけでなく、先を見据えたプランを考えてはどうか。寒河江インターのところは洪水の危険率が高いのであれば、貯水の管理のやり方等方法はあるのではないかと思う。
- ・昨年度からの緊急経済対策については、早く、手厚くしていただいたことを高く評価している。

【福祉・介護】

- ・ギャップ値の大きかった介護サービスの充実、介護について頑張してほしい。
- ・暮らしやすいまち、住みよいまちとは何かと考えたときに、地域医療、老人福祉、子育てが基本になるんだろうと思う。
- ・昔と比べても介護施設も使いやすいようになっているのだろうが、まだまだ待機されている方も100人を超えており、すぐに利用できないというような不満もあると思う。

【防災・防犯・交通安全】

- ・去年の7月28日の水害によって、住民の危機感が強くなっている。水害の総括や改善策等市民に伝えてほしい。市民も協力していくことができる。
- ・沼川の整備について、宝とか西根の方の用水路を沼川とつなぐ計画があるという話を聞いたが、余計に日田地区が洪水になりやすい状況になるのではないのか。もう少しやり方を考えてほしい。

【地域づくり・男女共同参画】

- ・地域おこし協力隊の活用は大変いいことだと思うが、3年間の成果をどのようにとらえているか。3年間の任期後のフォローはどうなっているのか。
- ・地域の役員のなり手がいない。市民主体の地域づくりのためにどんな方法、取組があるのか等市民に伝えてほしい。

【生涯学習・スポーツ・文化】

- ・アンケートの現状の評価と今後の重要度とのギャップでは、「郷土の歴史を大切にする活動の推進」は、ギャップが一番小さいものとなったが、市民の意識との乖離があると感じる。地域活性化の一つの取組として、非常に大事なものであり、大切にしてほしい。
- ・国史跡慈恩寺旧境内の範囲拡大や活性化策について、関係者や市民に伝えてほしい。市民も協力していくことができる。
- ・郷土の文化とか芸術を大切にしてほしい。スポーツ施設は古くてとても使えない。公式記録も取れない状況である。
- ・コロナ禍の中で地域の文化歴史風土習慣祭りいろんなものがなくなっていくことが一番怖い。コミュニティの欠如につながる。寒河江市の発展には産業の振興も暮らしも大事だが、それ以上に子供たちから老若男女まで寒河江を愛する心をはぐくむという取組を永続的に行うことが大事だと信じている。

【その他】

- ・満足度について、平均の3点をいくつか揃えるのではなくて、4点、5点という項目を何個か作ったほうが尖った市の特徴として出てくるのではないのか。
- ・委員、市職員、それぞれ役目とは別のところで公私、仕事は仕事、プライベートはプライベートに分けてではなくて、寒河江に関係している、住んでいる者として、寒河江市の振興に関してできることをやっていただきたい。
- ・生活に直結するようなものを寒河江市民は、プラスアルファで欲しいと思っており、郷土の歴史を大切にすることやイベントについては、重要度が低いと感じている。
- ・アンケートについて、自分を中心にこういう施策があったらいいなと考えているのではないか。市全体で全世代的に考えるとどうなのか、例えば60代の方から見て、20代の方にとって必要なものという視点で聞いてみるとまた違ったかもしれない。
- ・アンケート結果について、丸く収まりすぎではないか。また、アンケートの人数はこれでいいのか、回答率はこれでいいのか、疑問がある。
- ・市民がこうだからこれでいい、では、魅力のある寒河江市、あるいは将来に対する寒河江市が描けないのではないかと感じて心配している。もっと特色がある、掘り下げた形で計画を作り、評価していかなければならない。
- ・このアンケート内容について、すべてが市の課題であり、これから反映していかなければならないと思う。
- ・歴史、文化、防災等の現状や取組について、市報等も使い市民に伝えてほしい。その方が、市民も協力しやすくなる。